平成18年度 施策評価表

所属 21800000
都市整備部　公園整備課

施策	1240　水辺
区分	
対象	対象：区民、河川、緑、公園対象数：人口　４３７，５２３人（平成17年4月1日現在）
施策意図	河川を活かした快適な空間が整備され、多くの区民が水辺に親しんでいる。
現状と課題	計画化された水の拠点整備は平成２０年でほぼ完了する予定である。しかし、拠点を結ぶアクセス基盤が脆弱なため、今後は、水辺のネットワーク事業基本構想に基づく整備を進めると共に計画が具体化していない水の拠点についても実現化を図って行く。また、課題であった水元小合溜の水質改善策は国との協議が整い取水施設工事を行っている。
成果指標	１：水の拠点整備面積（水の拠点整備を行った面積の累計） ２：水辺が親しめる空間となっていると思う区民の割合（マーケティング調査）

目標達成状況

		平成17年度	平成18年度
成果指標１ [ha]	予定	18.10	23.10
	実績	18.10	
成果指標２ [%]	予定	42.40	42.50
	実績	38.60	
成果指標３ [ ]	予定		
	実績		
ﾄｰﾀﾙｺｽﾄ（千円）	予定		624,244
	実績	740,137	

施策の位置付け

区の関与度合	区中心。　事業地の多くは国や都が管理する河川区域内にあり、民間事業者では施設の設置は難しく、区が関与する度合いは大きい。
区民ニーズへの貢献	非常に大きい。　本区の特徴である水辺空間には自然環境の保全と共に災害時における避難場所の拡充といった要望が高く、これに応えている。
成果向上の必要性	向上必要。　本施策には、河川を軸に市街地と水辺のネットワークを形成することにより、環境面はもとより都市景観や防災機能の観点からも成果の向上が求められている。
成果向上の容易性	容易ではない。　事業実施には河川区域という特殊性から国や都との協議に時間を要し、今後の事業を展開するためにはまとまった用地の確保が必要となるが厳しい状況にある。

位置付け総合評価

拡充。　本施策は、区民ニーズも高く、多くの区民に憩いやレクリエーションの場を提供し、かつ、都市環境や防災性の観点からも必要な役割を担っており、区民の良好な生活環境を確保していくため拡充すべき施策である。

施策目的達成のための事務事業

事業ｺｰﾄﾞ	名　称	ﾄｰﾀﾙｺｽﾄ(千円)	総合評価
124001	（仮称）中川河岸緑地公園整備	466,821	5
124004	駐車広場管理運営委託（柴又公園駐車場）	8,989	5
124007	水辺のネットワーク事業基本構想策定委託	13,130	5
124005	維持管理（水元小合溜水質浄化施設）	126,569	4
124006	水辺のふれあいルーム運営	21,413	4
124002	堀切水辺公園整備（水の拠点整備）	1,840	1
124003	（仮称）西水元公園整備（水の拠点整備）	101,375	1

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年　度　平成18年度　　所　属　21800000

施　策　1240　　都市整備部　公園整備課

水辺

期　間　平成17年度　～　平成18年度　　(単位：千円)

			NO	平成17年度	平成18年度			
予定	財源内訳	国庫支出金	(1)		30,000			
		都道府県支出金	(2)		51,620			
		地方債	(3)		0			
		その他	(4)		58,388			
		一般財源	(5)		466,946			
	直接費	事業費	(6)		531,975			
	職員人件費	人件費	(7)		69,579			
		再雇用職員分	(8)		5,400			
		(職員数:賦課)	(9)		9.17			
		(職員数:配賦)	(10)					
		職員数合計(9)+(10)	(11)		9.17			
	間接費		(12)		0			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		10,837			
		(加算)金利	(14)		0			
		(加算)退職給与引当	(15)		6,453			
		(控除)コスト対象外	(16)		0			
		(控除)雑収入	(17)		0			
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)		(18)		17,290			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)		(19)		624,244			
実績	財源内訳	国庫支出金	(20)	52,000				
		都道府県支出金	(21)	145,285				
		地方債	(22)	0				
		その他	(23)	324,805				
		一般財源	(24)	166,036				
	直接費	事業費	(25)	616,900				
	職員人件費	人件費	(26)	60,306				
		再雇用職員分	(27)	10,920				
		(職員数:賦課)	(28)	7.82				
		(職員数:配賦)	(29)					
		職員数合計(28)+(29)	(30)	7.82				
	間接費		(31)	0				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	10,837				
		(加算)金利	(33)	35,036				
		(加算)退職給与引当	(34)	6,138				
		(控除)コスト対象外	(35)	0				
		(控除)雑収入	(36)	0				
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)		(37)	52,011				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)		(38)	740,137				

施策名	水辺

担当課：　公園整備課

●施策の達成状況

【達成度評価】

これまで国や都との事業調整により工事着手出来なかった水の拠点整備事業に着手できたこと、また、懸案であった水元小合溜の水質改善策について国との協議が整い取水施設改修工事が順調に進められていることの評価は大きい。

●構成事務事業の施策成果貢献度

（事務事業を相対評価し、該当する位置に記載）

事務事業の成果向上の余地	小	中	大
大		維持管理(水元小合溜浄化施設)	(仮称)中川河岸緑地公園整備 (仮称)西水元公園(水の拠点整備)
中		駐車広場管理運営委託（柴又公園駐車場） 水辺のふれあいルーム運営	堀切水辺公園(水の拠点整備) 水辺のネットワーク事業基本構想策定委託
小			

施策成果への貢献度

●構成事務事業の次年度方向性

（事務事業を相対評価し、該当する位置に記載）

事務事業の成果の増減方向	減少	維持	増加
向上	(仮称)中川河岸緑地公園整備		(仮称)西水元公園（水の拠点整備） 維持管理(水元小合溜浄化施設)
維持	水辺のネットワーク事業基本構想策定委託	駐車広場管理運営委託（柴又公園駐車場） 水辺のふれあいルーム運営	堀切水辺公園(水の拠点整備)
減少			

事務事業のコストの増減

【次年度方向性の考え方】

水の拠点となる公園３箇所の整備が完了することにより、地域の基幹公園として地域コミュニティや自然環境に対する造詣を深める場、心身を癒す場として多方面の効果が期待できる。また、水元小合溜水質浄化取水施設の改修工事が完了することから、小合溜の水質改善が更に図れるものと期待している。